

創傷・フットケア外来では、佐藤明代皮膚・排泄ケア認定看護師、阿部てるみ糖尿病看護認定看護師、邊見智恵子形成外来看護師の3名の看護師が担当しています。  
2名の認定看護師から外来を紹介いたします。

## 慢性創傷の患者さんの生活支援を積極的に行っています！

皮膚・排泄ケア  
認定看護師  
佐藤 明代



創傷とは、褥瘡などの治癒が遅延した慢性創傷と正常な治癒過程をたどる急性創傷に二分されます。「創傷・フットケア外来」では慢性創傷を主としたケア介入を行っています。慢性創傷は生活環境や自己管理方法により治癒への道のりが大きく変わります。そのため外来では、患者さんの生活を支援することを積極的に行っています。創傷についての具体的なケアに加えスキンケア指導から靴選び、日常生活の注意点などその人にあった方法を提供しています。



創傷は乾燥させず、適切な湿潤環境下で管理するモイストウンドヒーリングの概念が周知されてはいます。しかし靴擦れなどの傷を放置し、黒色壊死いわゆる瘡蓋をつくり「治った」と受診されず、その後感染した状態で来院する患者さんは少なくありません。院内、外を通して創傷に対する知識の普及活動をも担っていくことが、「創傷・フットケア外来」の使命と考えます。外来スタッフは、最新の知識、技術を提供できるよう院内・院外の研修に参加しスキルアップを図り活動しています。

## 糖尿病内分泌内科医師と連携しながら活動しています！

糖尿病看護  
認定看護師  
阿部てるみ



平成20年4月の診療報酬改定により糖尿病合併症管理料が新設され、フットケアの関心は高まっています。当院では糖尿病内分泌内科外来において、糖尿病足病変予防のための指導を中心としたフットケアを開始しました。平成21年3月には形成外科外来に「創傷・フットケア外来」が新設され、糖尿病内分泌内科医師と連携し皮膚・排泄ケア認定看護師と協力しながらお互いの専門性を生かしたケアや処置を行っています。

糖尿病の患者さんは合併症による視力障害や神経障害のため足病変の発見が遅れ切断に至るケースが多くみられ、患者さんのQOLに大きな影響を及ぼします。そのため、「創傷・フットケア外来」では足病変を予防しQOLを維持することを目的として、患者さんが足に関心を持ち自己管理していけるように、ケアの必要性和患者さん一人一人に合った具体的な観察やケアの方法を指導しています。また、糖尿病足病変の予防は足のケアだけではなく、血糖コントロールも重要であるため、食事や日常生活面についても支援しています。

## スタッフ全員集合



後列右端が邊見看護師